

こども園における自己評価

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりや地域情報誌において、園の理念や教育・保育方針等について具体的な場面や活動を盛り込みながらお知らせしています。今後も引き続き周知されるよう努力してまいります。 ・子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うために職員一人一人が職務についてを理解していくことや職員同士が語り合うことを大切に、「人権擁護のセルフチェック」を用いて園内研修を行いました。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか	○				
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・発達の連続性を鑑みたくえで教育・保育方針や主体性の育ちについて計画として組み入れています。また、週の立案においても子どもたちの生活や遊びの姿を捉え、遊びが継続していけるよう考慮して作成しています。 ・コロナ禍3年目の中、状況を精査しつつ行事や活動を行ってきました。単に楽しいだけでなく“子どもにとっての育ち”について考えたり振り返ったりしました。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・職員は子どもたちが日々安定した気持ちで過ごせるよう心の拠り所となり、信頼関係を育んでいます。 ・様々な野菜を栽培する中で、生長の様子を間近にし、不思議さや面白さを味わうことができたことはもちろんのことですが、収穫したての野菜をその日のうちに調理してもらい新鮮さを直に味わうことで、食に対する興味関心がより育まれ、食を営む力の源となっています。 ・子ども一人一人の興味や発達に応じて主体的に遊べる環境や保育者の関わり方について、ドキュメンテーション等を利用して話し合うことを今後も続けていき、教育・保育の質の向上に努めてまいります。 ・子ども自身が自分の存在が認められ守られているという安心感を心の支えとし、やりたいことを見つけ試行錯誤しながら、夢中になって取り組む体験を日々重ねられるよう努めています。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	○				
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育んでいけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか	○				

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を必要とする子や何らかの手立てが必要な子どもたちに対して職員間で話し合う機会を設けています。また専門機関と連携をとり、助言をいただきながら関わり方について実践しています。 ・小学校教諭による園の参観がようやく実現し、意見交換することが出来ました。今後も小学校との連携や接続が円滑に行えるよう働きかけていきます。
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も組別懇談会や保育参加を実施し、保護者同士が子育てについて情報交換したり、園での様子を知らせていただいたりする機会となりました。また、悩み事や困り事の内容によっては、相談室を利用して個別に傾聴することを心がけてきました。 ・地域の子育て家庭に対しては、秋に園庭開放を行った他、電話で現況を伺ったり相談事に応じたりしました。また、どなたでも気軽に利用してもらえるようにと県の事業である“赤ちゃんの駅”に登録しました。
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか			○		
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な感染症対策を徹底して行ってきましたが、クラス閉鎖や休園をせざるを得ないこともありました。保護者に対しては感染症予防への協力依頼を随時メール等で配信しました。 ・様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。今年度は大雨や大雪の警報が発令され保護者に早期のお迎えをお願いすることがありました。緊急時の職員の体制や保護者への連絡、引き渡し方法など更に検討し災害時に備えたBCPの取り組みを行っています。 ・外部研修はリモートを中心に行いました。パート職員も参加しやすく共通の課題について皆で振り返ることが出来ました。また、園内研修ではドキュメンテーションから“幼児期までに育みたい10の姿”を捉えたり、職員同士で園づくりのためのアイデアや経験談等を伝え合うなど、専門性の向上と職員の対話に重きを置きました。 ・利用者に園日より等で事業計画の周知を図っていきます。 ・保護者や子どもに関して知り得た事柄は、プライバシーの保護のため適正に取り扱い、秘密保持等に遵守し、保護者との信頼関係を一層構築していきます。 ・保護者からのご意見や苦情に対して速やかに対応し良好な関係が保てるよう努めています。また、相談内容に応じては、個別で相談室で話を伺う機会を設けています。 ・自己評価後に職員間で、より深い子ども理解と保育環境を含めた関わりについて多面的な視点から話し合いが出来ました。
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか			○		
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				
	(10) 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

施設関係者評価

--

蓮代寺こども園の評価結果に対する意見・コメント

昨年に引き続き、保育での工夫が感じられます。「自然の恵みを一着においしく感じられる様子は配慮している」この姿勢はいいですね。「主体性」⇒具体的に子どもの育ちや姿から場面をとりて保護者に理解していただくことがしやすいと感じました。全体的な評価でAが増えている職員が努力がみられます。保護者の意見に対してわかりやすく言葉で答えて日々の保育の姿が見えます。

令和5年3月16日

役職等 監事

氏名 飯沼 清美 

蓮代寺こども園の評価結果に対する意見・コメント

- ① 保護者からの要望に対する園の回答は、言葉の表現が
やわらかく 園の方針、姿勢も丁寧に説明されています。
- ② 教育、保育の一場面として 主体性、主体的の場面を具体的に
エピソードとして伝えていき、保護者の理解をより深めていければと思います。
- ③ 食育というと、栽培、収穫、フッキングがタリですが、提供の工夫も
みられ、給食作りをみる楽しみがあります。写真の撮り方もうまい、おじが伝わります。
- ④ 地域情報誌に、理念や教育保育方針についての具体的な
場面が掲載されており、わかりやすかったです。
- ⑤ 行事前のクラス作りでは、取りくみや、姿、また保育者の願い、思い
は伝えているものなので、それがないクラスもあり 出して下さい。
- ⑥ 職員同士、声をかけ合い、連絡、情報が共有されていて、
人任せにしている感じはなく、みんなで、今とて、という雰囲気も伝わって
きます。

令和 5 年 3 月 13 日

役職等 監事

氏名 堅田 光恵



蓮代寺こども園の評価結果に対する意見・コメント

引き続き、食育活動に対する保護者からの評価が高く、毎日の給食やおやつも様々な工夫がされていてとても素晴らしいと思います。

ドキュメンテーション等を利用して子ども一人一人の興味や発達に応じて主体的に遊べる環境や保育者のかかわりについて話し合うことはとても良いと思います。

子どもが主体となる活動は保育者のねらいをもった環境設定から始まると思います。どんな環境を設定したら子どもたちの主体的活動が引き出せるか、とても難しい課題ですが、ドキュメンテーションを利用した話し合いを積み重ねることによってより質の高い保育が実現されると思います。

令和 5年 3月15日

役職等 監 事 _____

氏 名 森 和 美 _____

